

記入日: 令和 7年 7月 31日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】

福岡県福津市

【設立時期】 令和3年9月1日

【設立経緯】

①区域に観光協会があるが、役割分担等をした上でDMO新設

【代表者】 (CEO) 浄見譲

【マーケティング責任者(CMO)】 中村留美

【財務責任者(CFO)】 中村留美

【職員数】 7人 (正職員2名、パート常勤2名、パート職員2名、学生バイト1名)

【主な収入】

収益事業 12. 2百万円、市補助金16. 6百万円、市受託金9. 7百万円

その他補助金 1. 3百万、市指定管理事業 12百万円 (6年度決算)

【総支出】

事業費 25. 5百万円、一般管理費 23. 3百万円 (6年度決算)

【連携する主な事業者】

ふくつ観光協会、福津市商工会、福津いいざい、キッカケラボ、JAむなかた、

JF宗像、ぶどうの樹福津海岸通り、グランドーム福岡、九州産業大学、

津屋崎ランチ、あんずの里市利用組合、ふれあい広場ふくま、福岡銀行、

西日本シティ銀行、遠賀信用金庫、北九州銀行、等

KPI(実績・目標)

※( )内は外国人に関するもの。

項目		2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年	2026 (R8)年	2027 (R9)年度
旅行 消費額 (百万円)	目標	15,964 ( )	16,372 ( 1.9 )	16,785 ( 3.9 )	17,203 ( 5.8 )	17,626 ( 10.4 )	18,054 ( 15.4 )
	実績	19,671 ( )	21,696 ( 8.6 )	23,062 ( 13.6 )	—	—	—
延べ 宿泊者数 (千人)	目標	48.4 ( )	57.0 ( 0.5 )	65.6 ( 0.6 )	74.2 ( 0.7 )	82.8 ( 0.8 )	91.4 ( 0.9 )
	実績	24.8 ( )	22.7 ( 0.4 )	22.3 ( 0.5 )	—	—	—
来訪者 満足度 (%)	目標	83.1 ( )	83.6 ( 83.6 )	84.1 ( 84.1 )	84.6 ( 84.6 )	85.1 ( 85.1 )	85.6 ( 85.6 )
	実績	90.1 ( )	87.5 ( 75.0 )	85.1 ( 83.5 )	—	—	—
リピーター率 (%)	目標	65.9 ( )	66.4 ( 10 )	66.9 ( 10 )	67.4 ( 10 )	67.9 ( 10 )	68.4 ( 10 )
	実績	64.0 ( )	54.1 ( 16.7 )	76.4 ( 8.8 )	—	—	—

戦略

【主なターゲット】

福岡へ訪れる旅行者及び交流人口、新規流入者の多い福岡都市圏に住んでいる人。主に30～50代のファミリー層及び20～40代のインスタグラム等を多用する若年層。

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

・自然、特に海岸線などを組み合わせた福津の食の魅力を発信。「光の道」「かがみの海」のような絶景と食を組み合わせたSNS対策。

・旅行テーマのニーズ(癒しの、大自然の魅力を味わう、歴史ある町並み等)に応えるコンテンツの磨き上げ。

・訪れた観光客の回遊性を高め、地域資源に誘導を図る。

【観光地域づくりのコンセプト】

「おいしい福津」おいしいもの、癒しの時間と空間を福津で暮らし、もてなす。おいしいと感じることは幸せな暮らしのシンボル。福津で明日へのパワーチャージ。

具体的な取組

【情報発信・プロモーション】

- ・HPやSNSを通じ福津市観光情報の集約と発信。福津市・観光協会と連携を図り、観光情報及びプロモーションの一元化を図る。ANAや雑誌社との「海から生まれたまち 福津」のプロモーション。
- ・多言語マップを含む観光や食に関するパンフレットの制作
- ・インスタグラムによるフォトコンテストやフォトキャンペーンにより拡散やPR画像の収集
- ・各種媒体への情報提供や取材コーディネート、広域や地域連携DMO、企業と連携した広報活動

【観光資源の磨き上げ】

- ・「おいしい福津」実践のため福津の食材や観光資源を使った食フェアの開催、農水・工芸事業者との連携による着地型体験事業の開発。事業者の「おいしい福津」への巻き込みを重視。
- ・光の道を目指してきた観光客を市内スポットへと流すために「ががみの海」「津屋崎千軒」という個性ある観光地の磨き上げを行い周遊を促す。津屋崎千軒のバスツアーコンテンツ開発。

【受入環境の整備】市内4か所の観光拠点に案内所の整備、お土産販売、レンタサイクルの整備

【インバウンド事業】

- ・福岡県観光連盟等との連携により国内外にてでのBtoB、BtoCのトラベルフェア出展、視察受け入れ等
- ・JNTO外国人観光案内所への登録(市内2か所)、インバウンド事業所セミナーの開催、観光庁支援事業等を活用したインバウンド体験コンテンツの開発等

